

# MANOEL DE OLIVEIRA PARA SEMPRE

EXIBIÇÃO COMEMORATIVA DA OBRA DO CINEASTA

永遠のオリヴェイラ  
マエル・オリヴェイラ監督追悼特集

会場 ユーロスペース(渋谷)  
会期 二〇二六年一月三日(土)～二月五日(金)



## 1ª Parte

【上映】  
「春の劇」(1962)、「過去と現在 昔の恋、今の恋」(1972)、「神曲」(1990)、「アニキ・ボボ」(1942)、「レステロの老人」(2014)、「カニバイシユ」(1988)、「ノン、あるいは支配の美しい栄光」(1990)、「アブラム深谷」(1960)。

【上映時間】  
18:00、19:00、20:00、21:00、22:00、23:00、24:00、25:00、26:00、27:00、28:00、29:00、30:00、31:00、32:00、33:00、34:00、35:00、36:00、37:00、38:00、39:00、40:00、41:00、42:00、43:00、44:00、45:00、46:00、47:00、48:00、49:00、50:00、51:00、52:00、53:00、54:00、55:00、56:00、57:00、58:00、59:00、60:00、61:00、62:00、63:00、64:00、65:00、66:00、67:00、68:00、69:00、70:00、71:00、72:00、73:00、74:00、75:00、76:00、77:00、78:00、79:00、80:00、81:00、82:00、83:00、84:00、85:00、86:00、87:00、88:00、89:00、90:00、91:00、92:00、93:00、94:00、95:00、96:00、97:00、98:00、99:00、100:00、101:00、102:00、103:00、104:00、105:00、106:00、107:00、108:00、109:00、110:00、111:00、112:00、113:00、114:00、115:00、116:00、117:00、118:00、119:00、120:00、121:00、122:00、123:00、124:00、125:00、126:00、127:00、128:00、129:00、130:00、131:00、132:00、133:00、134:00、135:00、136:00、137:00、138:00、139:00、140:00、141:00、142:00、143:00、144:00、145:00、146:00、147:00、148:00、149:00、150:00、151:00、152:00、153:00、154:00、155:00、156:00、157:00、158:00、159:00、160:00、161:00、162:00、163:00、164:00、165:00、166:00、167:00、168:00、169:00、170:00、171:00、172:00、173:00、174:00、175:00、176:00、177:00、178:00、179:00、180:00、181:00、182:00、183:00、184:00、185:00、186:00、187:00、188:00、189:00、190:00、191:00、192:00、193:00、194:00、195:00、196:00、197:00、198:00、199:00、200:00、201:00、202:00、203:00、204:00、205:00、206:00、207:00、208:00、209:00、210:00、211:00、212:00、213:00、214:00、215:00、216:00、217:00、218:00、219:00、220:00、221:00、222:00、223:00、224:00、225:00、226:00、227:00、228:00、229:00、230:00、231:00、232:00、233:00、234:00、235:00、236:00、237:00、238:00、239:00、240:00、241:00、242:00、243:00、244:00、245:00、246:00、247:00、248:00、249:00、250:00、251:00、252:00、253:00、254:00、255:00、256:00、257:00、258:00、259:00、260:00、261:00、262:00、263:00、264:00、265:00、266:00、267:00、268:00、269:00、270:00、271:00、272:00、273:00、274:00、275:00、276:00、277:00、278:00、279:00、280:00、281:00、282:00、283:00、284:00、285:00、286:00、287:00、288:00、289:00、290:00、291:00、292:00、293:00、294:00、295:00、296:00、297:00、298:00、299:00、300:00、301:00、302:00、303:00、304:00、305:00、306:00、307:00、308:00、309:00、310:00、311:00、312:00、313:00、314:00、315:00、316:00、317:00、318:00、319:00、320:00、321:00、322:00、323:00、324:00、325:00、326:00、327:00、328:00、329:00、330:00、331:00、332:00、333:00、334:00、335:00、336:00、337:00、338:00、339:00、340:00、341:00、342:00、343:00、344:00、345:00、346:00、347:00、348:00、349:00、350:00、351:00、352:00、353:00、354:00、355:00、356:00、357:00、358:00、359:00、360:00、361:00、362:00、363:00、364:00、365:00、366:00、367:00、368:00、369:00、370:00、371:00、372:00、373:00、374:00、375:00、376:00、377:00、378:00、379:00、380:00、381:00、382:00、383:00、384:00、385:00、386:00、387:00、388:00、389:00、390:00、391:00、392:00、393:00、394:00、395:00、396:00、397:00、398:00、399:00、400:00、401:00、402:00、403:00、404:00、405:00、406:00、407:00、408:00、409:00、410:00、411:00、412:00、413:00、414:00、415:00、416:00、417:00、418:00、419:00、420:00、421:00、422:00、423:00、424:00、425:00、426:00、427:00、428:00、429:00、430:00、431:00、432:00、433:00、434:00、435:00、436:00、437:00、438:00、439:00、440:00、441:00、442:00、443:00、444:00、445:00、446:00、447:00、448:00、449:00、450:00、451:00、452:00、453:00、454:00、455:00、456:00、457:00、458:00、459:00、460:00、461:00、462:00、463:00、464:00、465:00、466:00、467:00、468:00、469:00、470:00、471:00、472:00、473:00、474:00、475:00、476:00、477:00、478:00、479:00、480:00、481:00、482:00、483:00、484:00、485:00、486:00、487:00、488:00、489:00、490:00、491:00、492:00、493:00、494:00、495:00、496:00、497:00、498:00、499:00、500:00、501:00、502:00、503:00、504:00、505:00、506:00、507:00、508:00、509:00、510:00、511:00、512:00、513:00、514:00、515:00、516:00、517:00、518:00、519:00、520:00、521:00、522:00、523:00、524:00、525:00、526:00、527:00、528:00、529:00、530:00、531:00、532:00、533:00、534:00、535:00、536:00、537:00、538:00、539:00、540:00、541:00、542:00、543:00、544:00、545:00、546:00、547:00、548:00、549:00、550:00、551:00、552:00、553:00、554:00、555:00、556:00、557:00、558:00、559:00、560:00、561:00、562:00、563:00、564:00、565:00、566:00、567:00、568:00、569:00、570:00、571:00、572:00、573:00、574:00、575:00、576:00、577:00、578:00、579:00、580:00、581:00、582:00、583:00、584:00、585:00、586:00、587:00、588:00、589:00、590:00、591:00、592:00、593:00、594:00、595:00、596:00、597:00、598:00、599:00、600:00、601:00、602:00、603:00、604:00、605:00、606:00、607:00、608:00、609:00、610:00、611:00、612:00、613:00、614:00、615:00、616:00、617:00、618:00、619:00、620:00、621:00、622:00、623:00、624:00、625:00、626:00、627:00、628:00、629:00、630:00、631:00、632:00、633:00、634:00、635:00、636:00、637:00、638:00、639:00、640:00、641:00、642:00、643:00、644:00、645:00、646:00、647:00、648:00、649:00、650:00、651:00、652:00、653:00、654:00、655:00、656:00、657:00、658:00、659:00、660:00、661:00、662:00、663:00、664:00、665:00、666:00、667:00、668:00、669:00、670:00、671:00、672:00、673:00、674:00、675:00、676:00、677:00、678:00、679:00、680:00、681:00、682:00、683:00、684:00、685:00、686:00、687:00、688:00、689:00、690:00、691:00、692:00、693:00、694:00、695:00、696:00、697:00、698:00、699:00、700:00、701:00、702:00、703:00、704:00、705:00、706:00、707:00、708:00、709:00、710:00、711:00、712:00、713:00、714:00、715:00、716:00、717:00、718:00、719:00、720:00、721:00、722:00、723:00、724:00、725:00、726:00、727:00、728:00、729:00、730:00、731:00、732:00、733:00、734:00、735:00、736:00、737:00、738:00、739:00、740:00、741:00、742:00、743:00、744:00、745:00、746:00、747:00、748:00、749:00、750:00、751:00、752:00、753:00、754:00、755:00、756:00、757:00、758:00、759:00、760:00、761:00、762:00、763:00、764:00、765:00、766:00、767:00、768:00、769:00、770:00、771:00、772:00、773:00、774:00、775:00、776:00、777:00、778:00、779:00、780:00、781:00、782:00、783:00、784:00、785:00、786:00、787:00、788:00、789:00、790:00、791:00、792:00、793:00、794:00、795:00、796:00、797:00、798:00、799:00、800:00、801:00、802:00、803:00、804:00、805:00、806:00、807:00、808:00、809:00、810:00、811:00、812:00、813:00、814:00、815:00、816:00、817:00、818:00、819:00、820:00、821:00、822:00、823:00、824:00、825:00、826:00、827:00、828:00、829:00、830:00、831:00、832:00、833:00、834:00、835:00、836:00、837:00、838:00、839:00、840:00、841:00、842:00、843:00、844:00、845:00、846:00、847:00、848:00、849:00、850:00、851:00、852:00、853:00、854:00、855:00、856:00、857:00、858:00、859:00、860:00、861:00、862:00、863:00、864:00、865:00、866:00、867:00、868:00、869:00、870:00、871:00、872:00、873:00、874:00、875:00、876:00、877:00、878:00、879:00、880:00、881:00、882:00、883:00、884:00、885:00、886:00、887:00、888:00、889:00、890:00、891:00、892:00、893:00、894:00、895:00、896:00、897:00、898:00、899:00、900:00、901:00、902:00、903:00、904:00、905:00、906:00、907:00、908:00、909:00、910:00、911:00、912:00、913:00、914:00、915:00、916:00、917:00、918:00、919:00、920:00、921:00、922:00、923:00、924:00、925:00、926:00、927:00、928:00、929:00、930:00、931:00、932:00、933:00、934:00、935:00、936:00、937:00、938:00、939:00、940:00、941:00、942:00、943:00、944:00、945:00、946:00、947:00、948:00、949:00、950:00、951:00、952:00、953:00、954:00、955:00、956:00、957:00、958:00、959:00、960:00、961:00、962:00、963:00、964:00、965:00、966:00、967:00、968:00、969:00、970:00、971:00、972:00、973:00、974:00、975:00、976:00、977:00、978:00、979:00、980:00、981:00、982:00、983:00、984:00、985:00、986:00、987:00、988:00、989:00、990:00、991:00、992:00、993:00、994:00、995:00、996:00、997:00、998:00、999:00、1000:00。

### 永遠のオリヴェイラ

#### マエル・オリヴェイラ監督追悼特集

#### MANOEL DE OLIVEIRA PARA SEMPRE

#### EXIBIÇÃO COMEMORATIVA

#### DA OBRA DO CINEASTA

www.jc3.jp/oliveira/

Part 2は、2016年夏以降に掲載します。166分の大作『アラシシカ』(81)のほか、1990年代後半～2000年代の代表作を上映する予定です。

この特集は、コミュニティシネマセンターが全国各地の映画専門施設(シネマテーク)と共同して行うシネマテーク・プロジェクトとして、2016年夏以降、全国に巡回します。

【巡回予定】

川崎市市民ミュージアム(川崎市) / 金沢21世紀美術館(金沢市) / 神戸アートビレッジセンター(神戸市) / 広島市映像文化ライブラリー【広島市】 / 山口情報芸術センター【山口市】 / 川崎市アートセンター(川崎市) / 高崎映画祭(高崎市)

#### 上映スケジュール

上映日	上映時間	上映作品
1月23日(土)	15:00	アブラム深谷(1960)
	18:40	階段通りの人々(1940)
	16:50	春の劇(1962)
1月24日(日)	14:50	神曲(1990)
	16:50	神曲(1990)
	19:25	アニキ・ボボ(1942) レステロの老人(2014)
1月25日(月)	15:30	過去と現在 昔の恋、今の恋(1972) レステロの老人(2014)
	18:30	階段通りの人々(1940)
	15:00	ノン、あるいは支配の美しい栄光(1990)
1月26日(火)	17:10	カニバイシユ(1988)
	15:00	神曲(1990)
	18:20	過去と現在 昔の恋、今の恋(1972) レステロの老人(2014)
1月27日(水)	15:00	神曲(1990)
	18:20	過去と現在 昔の恋、今の恋(1972) レステロの老人(2014)
	15:00	アブラム深谷(1960)
1月28日(木)	19:00	アニキ・ボボ(1942) レステロの老人(2014)
	15:30	階段通りの人々(1940)
	18:30	ノン、あるいは支配の美しい栄光(1990)
1月30日(土)	14:50	神曲(1990)
	17:25	カニバイシユ(1988)
	19:20	アニキ・ボボ(1942) レステロの老人(2014)
1月31日(日)	14:50	過去と現在 昔の恋、今の恋(1972)
	17:00	春の劇(1962)
	18:50	ノン、あるいは支配の美しい栄光(1990)
2月1日(月)	16:00	アニキ・ボボ(1942) レステロの老人(2014)
	19:00	カニバイシユ(1988)
	15:30	春の劇(1962) レステロの老人(2014)
2月2日(火)	18:30	過去と現在 昔の恋、今の恋(1972)
	16:00	ノン、あるいは支配の美しい栄光(1990)
	19:00	カニバイシユ(1988)
2月3日(水)	18:00	神曲(1990)
	16:00	春の劇(1962)
	15:00	階段通りの人々(1940)
2月4日(木)	17:00	アブラム深谷(1960)

#### 料金

前売券 1回券 = 1300円 / 3回券 = 3300円  
前売券はご高覧当日、劇場窓口にて入場整理番号とお引換えください。  
当日券 1回券のみ  
一般 = 1500円 / 大学専門学校学生 = 1300円  
会員・シニア = 1100円 / 高校生 = 800円  
中学生以下 = 500円

各回入替制・整理番号購入・自由席  
やむをえない事情により作品及び上映時間が変更される場合がございます。

#### お問い合わせ

コミュニティシネマセンター  
☎090-3535-1573 | <http://www.jc3.jp>

#### アクセス

#### ユーロスペース

150-0044 東京都渋谷区円山町1-5  
☎03-3481-0211 | <http://www.eurospace.co.jp/>



マエル・オリヴェイラ監督の傑作  
アンジェリカの微笑み

Bunkamura(シネマ 他)全国順次公開中  
オリヴェイラが、101歳の時に発表した、あまりにも穏やかな愛の幻滅譚。  
生涯を遡ったポルトガルのドウロ川流域を舞台に、天涯した美女と青年のかわぬ恋を描く。

永遠のオリヴェイラ マノエル・オリヴェイラ監督追悼特集  
MANOEL DE OLIVEIRA PARA SEMPRE  
EXIBIÇÃO COMEMORATIVA DA OBRA DO CINEMA

## オリヴェイラは世界最大の映画作家である 運貴重産

現役最高齢の映画作家として数多くの作品をつくり続けたマノエル・オリヴェイラ監督が、2015年4月2日に106歳で亡くなりました。

日本では、1993年に開催されたボルトガル映画祭で、初めてオリヴェイラ特集が組まれ、同年の東京国際映画祭で「アブラム漢谷」が最優秀芸術貢献賞を受賞、オリヴェイラ監督という偉大な映画作家の存在を知らされました。

これ以後、ほとんどの長篇が劇場公開され、オリヴェイラ監督は日本の映画ファンが最も敬慕する映画作家となりました。

本特集では、80年をこえる映画人生でマノエル・オリヴェイラ監督が遺してくれた珠玉の映画をPart1、Part2に分けて上映します。

**アニキ・ボボ!** *Aniki Bobô* [1942年・71分・モノクロ・35ミリ]

監督・脚本 マノエル・オリヴェイラ

撮影 フランシスコ・ジャンス

出演 オラニョ・フェルナンデス、フェルナンダ・マス、オラシオ・シルヴァ

オリヴェイラの長篇デビュー作。黒光輝く注目の若き舞台に、観客をアニキ・ボボ少女たちを縦横無尽に活躍させてオラシオの先駆的作品と見られる。「アニキ・ボボ」とは警官・泥棒とどっちの名前。幼い恋の冒険を「罪悪」と恋愛の寓寓へ変換させる演出のスケール感はずして巨大。



**春の劇** *Primavera* [1963年・91分・カラー・35ミリ]

監督・脚本・撮影 マノエル・オリヴェイラ

出演 ニコラウ・メネズ・シルヴァ、エルメンダ・ビシユ、マリア・マダレーナ

16世紀に書かれたテキストに基づいて山村クワリで上演されるリリス受難劇の記録。自ら「作品歴のターニングポイント」と述べる本作でオリヴェイラが発見したのは、「上演の映画」という極めて意匠的な鑑賞だ。一見して不自然な「虚構」のドキュメントだけが喚起する謎と緊張。前人未踏の「映画を超えた映画」の始まり。

**過去と現在 昔の恋、今の恋** *Passados e Presentes* [1972年・115分・カラー・35ミリ]

監督・脚本 マノエル・オリヴェイラ

撮影 アカシオ・アルメイダ

出演 マリア・ド・サイゼット、マヌエラ・ド・フレイタス、ヘドレ・ゼニロ

長篇劇映画第三作。ヴィンセンテ・サンチュスの戯曲「過去と現在」を、監督が自ら映画用に脚本。「フランスシカ」に基く「挫折した愛の四部作」の第一部にあたる。現在の心と過去を分かち、事故死した最初の夫への想いを暮らせる妻ワリアを中心に、過去と現在、死者と生者の間を交差する奇妙な愛が描かれる。



**カニバシユ** *O Canibó* [1969年・91分・カラー・35ミリ]

監督・脚本 マノエル・オリヴェイラ

撮影 マリオ・パロージ

出演 ルイス・ミゲル・シントラ、レオノール・シルヴェイラ、ディオゴ・ドーア

過去と現在を音楽を担当してきたジョアン・バティストと作られたオペラ・ブッフ・映画。版に逆行する貴族たちの晩餐会が、やがて、タイトルが予告する驚愕の食人場面へ。人間と動物、人間と機械、見せかけと本質…ワイオリンの調べに乗ってあらゆる境界が軽々と壊される。



**ふ、あまは支那の空い栄光** *Nem era lá Glória do Mando* [1990年・110分・カラー・35ミリ]

監督・脚本 マノエル・オリヴェイラ

撮影 エルノ・ロウ

出演 ルイス・ミゲル・シントラ、ディオゴ・ドーア、ミゲル・ギリエルメ

1974年、独立戦争が長期化していたアフリカのボルトガル植民地で、産卵した兵士たちは戦争の意味と自国の歴史を振り返る。カモンイスの叙事詩「ウズ・ルジダス」、アントニョ・オリヴェイラ神父、フェルナンド・ペーナ、ジョゼ・レジオなどの文学作品に想を得て、ローマ時代から20世紀まで、ボルトガル民族の2000年にわたる歴史の中の四つ足の政北の物語を描く、オリヴェイラによる壮大な歴史・戦争映画。



**神曲** *A Dama de Copacabana* [1991年・141分・カラー・35ミリ]

監督・脚本 マノエル・オリヴェイラ

撮影 ワウ・ツゼサウ

出演 マリオ・ド・メジダス、ミゲル・ギリエルメ、ルイス・ミゲル・シントラ

「精神を病める人々の哀れが掲げられた邸宅で、アダムとイブ、キリスト、ラスコリーニコフ、ニーチェの人々たち、歴史的文学作品の登場人物たちが、信仰と理性と愛についての論議を戦わせる。西洋古典の深奥に分け入りながらもまた未知なる未知について、絶妙な興きとともに再び映像として蘇らせるオリヴェイラ芸術の真骨頂。

**アブラム漢谷** *Abraham Hanay* [1993年・188分・カラー・35ミリ]

監督・脚本 マノエル・オリヴェイラ

原作 アグスティナ・ペッサウ・カモイス 撮影 マリオ・パロージ

出演 レオノール・シルヴェイラ、セルジウ・ストリアル、ルイス・ミゲル・シントラ

プロセウ「ボウワ」夫人をもとにボルトガル文学の巨匠アグスティナ・ペッサウ・カモイスの原作を執筆、形跡なき言葉の響きとオリヴェイラの恋愛映像が火花を散らす「芸文映画」の最高峰。監督が追求し続ける女性美が、主人公を演じるレオノール・シルヴェイラと洗練されたイザベラ・バルトの間顔に具現する。

[フィルム祭・東京国立近代美術館フィルムセンター]



**階段通の人人** *A Casa* [1994年・96分・カラー・35ミリ]

監督・脚本 マノエル・オリヴェイラ

撮影 マリオ・パロージ

出演 ルイス・ミゲル・シントラ、ヘアトリスタバルダ、フリベラ・コソフェル  
リリスの冒険を舞台にした群像劇。「すべて私の映画同様、「階段通の人人」は人生が永遠に続く特別な何かだ。それは難しく困難に満ちた。ほとんど忘れられた人々の目を惹いた真の人間性のポイントだ。これは、1920年代の映画、初期映画への冒険を示す映画なのだ。」

[フィルム祭・東京国立近代美術館フィルムセンター]

**レステロの老人** *O Velho de Restelo* [2014年・79分・カラー・DCP]

監督・脚本 マノエル・オリヴェイラ

撮影 レナート・ベルタ

出演 ルイス・ミゲル・シントラ、リカルド・トトレバ、ディオゴ・ドーア  
ボルトガルの大航海時代を詠った国民詩人カモンイス、「ドン・キホーテ」の作者セルヴァンテス「破滅の魂」の原作者である19世紀ボルトガル・ロマン派の小説家カステロ・ブランコ、20世紀の詩人バスケイロ。4人の文学者がボルトガルの過去と未来について語り合う。タイトルである「レステロの老人」は、大航海時代の栄光に異を唱える人物として、カモンイスの詩「バスケイロ」の中に登場する。



特別上映

**マノエル・オリヴェイラ** Manoel de Oliveira

1908年12月1日にボルトガルの海軍将校に生まれる。1931年に初監督作「ワウワ」を撮り、42年に初映画長篇映画「アニキ・ボボ」を発表。商業を続けるながら映画制作を続け、43年に長篇第2作「春の劇」を監督するが、「ボルトガルには権威が存在する」という発言によって投獄される。10年を越して1972年3月30日の長篇第3作と現在を昔の恋、今の恋を発表。1974年独裁政権が終わり、オリヴェイラ「バルタに大逆無道」(75)、「破滅の魂」(78)、「フランスカ」(81)と「挫折した愛の四部作」を完成する等作「神曲」(85)、「アブラム漢谷」(93)、「世界の始まりと終わり」(97)、「クレーグの東方」(99)などの傑作をつくり続け、6000年代に入り、90歳をこえてもおお、ミシェル・ロウ(映画) [01]、シモン・マルコヴィッチ(映画) [03]、カリーヌ・ドヌーフ(映画) [05]、ヒュル・オジェ(映画) [05]、ジャンヌ・モロー(家) [12]といった世界的名優を迎えて、作品を生み出し続ける。2014年のヴェネチア国際映画祭で短篇「レステロの老人」上映。2015年4月2日没、享年106。